

進路通信

No. 24

12月9日(月)

お願いとお詫び ~出願準備と手続きについて~

先日より、〈私立高校特別・一般入試〉及び〈公立高校特別選抜・一般選抜〉の出願にあたり、御配慮、御協力をいただき、ありがとうございました。
以下の確認をお願いいたします。

① 私立高校の受験料の振込が完了されていない御家庭は、早急に手続きをしていただきますよう、お願いいたします。

・ネット出願の場合・・・振込が完了したら、願書と受験票等を印刷して、その両方を中学校に提出。
出願完了後の、願書の内容の訂正は、中学校からしかできません。

・ネット出願以外・・・銀行窓口での振込が完了したら、納付証明書を中学校に提出。その際、
願書に貼り付けはしないでください。

② 公立高校については、特別選抜と一般選抜の両方において、選抜手数料の提出をお願いいたします。
〈普通為替証書〉に引き換えての提出ですが、何も記入しないで提出してください。

②については、〈第23号進路通信〉において混乱する表現があり、御迷惑をおかけしております。大変申し訳ありませんでした。12月16(月)を締め切りとしておりますので、遅れませんよう御提出をお願いいたします。

コミュニケーションの重要性について

あらためて、コミュニケーションの大切さを痛感しております。

現在進行している入試に向けた様々な手続きについて、学年、学級、または受験高校別に生徒へ重ねて連絡やお願いをしています。この中には、生徒自身が行うこと、生徒が保護者に伝えて保護者が行うことなどがあるのですが、生徒が理解したつもりで、実は分かっていなかったりします。または、生徒から保護者へ大事なことが伝わっていない様子も時々見られます。

重ねて、保護者の皆様へは、〈進路通信〉を紙面で配付し、学校のホームページでも閲覧できるようにしています。その際、安心メールで連絡をしています。

しかし、〈進路通信〉が保護者の手元にわたってなかったり、ホームページでの閲覧方法がわかりづらく〈進路通信〉まで辿り着かなかったり、そもそもチェックをしていなかったりなどがあります。そこで、必要に応じて、学級担任は放課後の時間を使って、個別に電話連絡をしたりして、保護者への連絡漏れをカバーすることも行っています。

ネット社会となり便利にはなりましたが、いろいろな情報が入る日常において、意識を向けておかないと気付くべきことをスルーしてしまうことはありがちです。

進路事務は大変気を遣うことではありますが、だからこそ、担任と生徒、生徒と保護者、保護者と担任というコミュニケーションのネットワークで、声を掛けて合せて同じ意識で進めていければと思います。

不手際がないように細心の注意を払っているところですが、何かありましたら早々に御連絡いただきますと大変助かります。よろしくお願いいたします。

